

増築(1)  
※竣工時から存在していたかその後の増築か不明

改修(1)  
屋根に改修

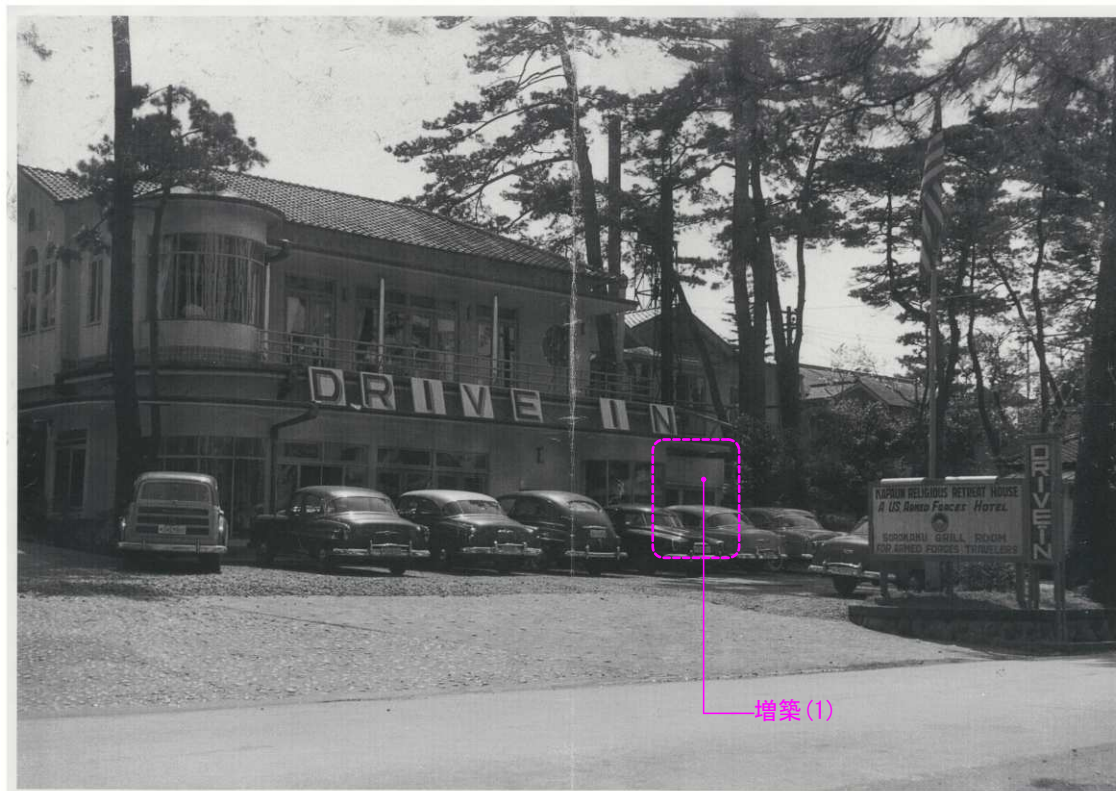
a 大磯旅館滄浪閣平面（変遷表では「図1」と記載）

作図年：記載なし

※その他資料により昭和26(1951)～28(1953)年と推定

[大磯町立図書館所蔵図面を加工]

増築  
改修



b 古写真(北面)

昭和29(1954)～同32(1957)年[大磯町郷土資料館所蔵]

大磯の滄浪閣 一部焼く  
【横浜】十四日午後六時四十五分ごろ神奈川県大磯町西小磯八五、ホテル滄浪閣に所有者兼隣院院長渡辺次郎氏、ボイラー室から出火、同室及び調理場、本館、別荘などを約八十坪を焼き同八時ごろ鎮火した。ボイラーの過熱によるものらしい。

滄浪閣は明治十七年春、故伊藤博文公が美濃の隠居所として小田原海岸を築いて建てたものだが、その後大磯町に移し、大正十年六月伊藤家から当時の李王家に献上した。戦後横濱氏が買い戻し、株式会社が買収、二階ホール一むねを増築、観光ホテルとして経営していた。焼失した建物は伊藤博文公が建てたもの一むねで、内部の調度品には鑑査時からのものも多数あり、これも焼失したものと見ている。

新聞記事 昭和28(1953)年11月15日 東京・朝刊 p.7 1.12[毎日新聞毎索]

Saturday, Jun. 26, 1909 (Meiji 42)	3	THE JAPAN 1
Sunday, Oct. 31, 1909 (Meiji 42)	3	THE JAPAN 1
Thursday, Jan. 05, 1911 (Meiji 44)	3	THE JAPAN 1
Saturday, Feb. 03, 1912 (Meiji 45)	8	THE JAPAN 1
Saturday, Oct. 27, 1917 (Taisho 6)	1	THE JAPAN 1
Sunday, Jun. 09, 1957 (Showa 32)	4	THE JAPAN 1
Wednesday, Feb. 05, 1958 (Showa 33)	7	THE JAPAN 1
Saturday, Feb. 08, 1958 (Showa 33)	7	THE JAPAN 1
Saturday, Feb. 15, 1958 (Showa 33)	7	THE JAPAN 1
Wednesday, Feb. 19, 1958 (Showa 33)	7	THE JAPAN 1
Saturday, Feb. 22, 1958 (Showa 33)	7	THE JAPAN 1

WHEN IN JAPAN ON  
Rest & Recuperation PATRONIZE

ARMED FORCES  
Special Services Hotels  
NEW MORI  
OHI-DATE  
SHOWTOH  
HOSOKAWA  
SEIZAN  
SOROKAKU

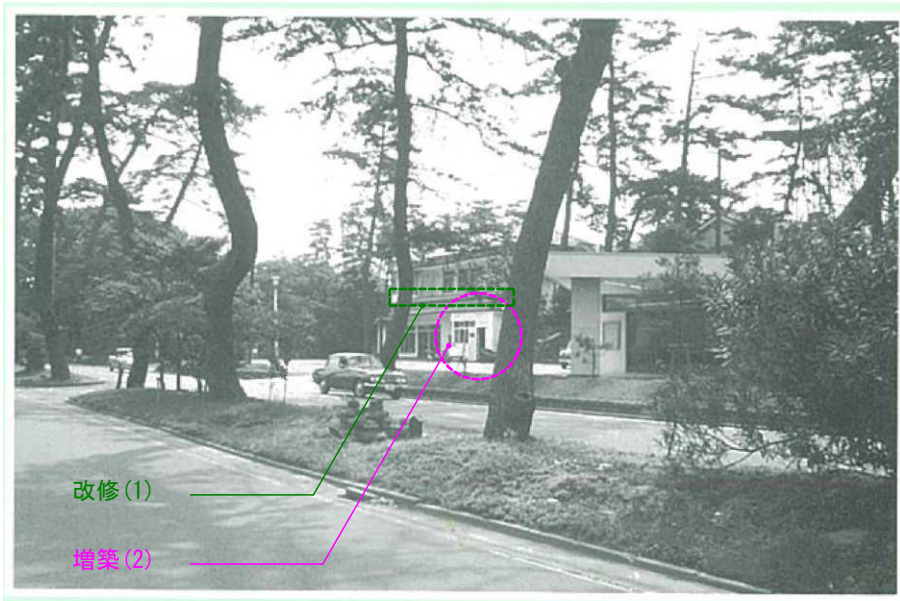
Enjoyment Spots of the East  
Reservations: thru U.S. Army Special Services Only

Operated by  
**SEIBU R. R. CO., LTD.**

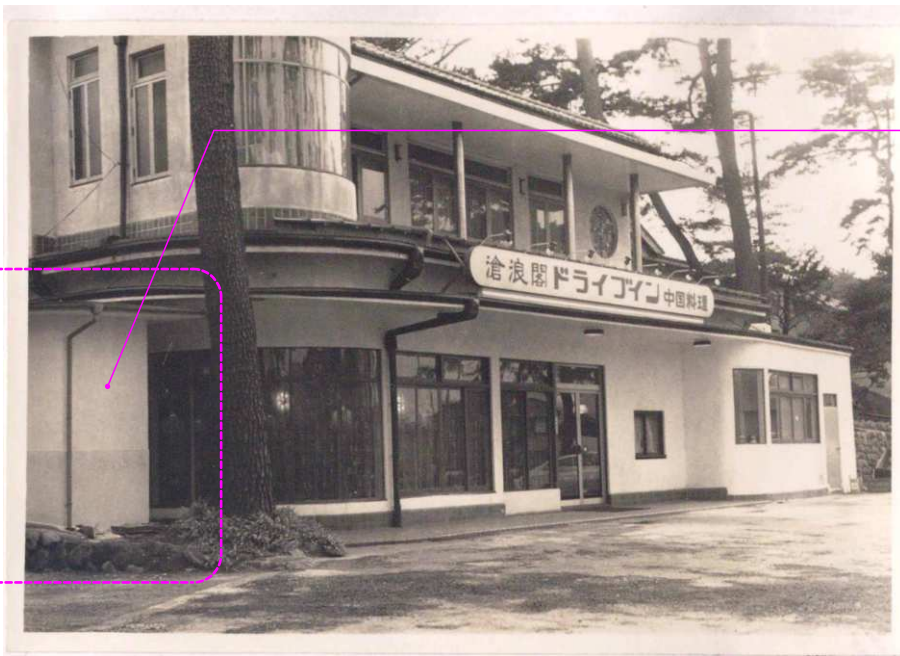
在日米軍関係者向けホテル広告 昭和32(1957)年6月9日[The Japam Times Archives]



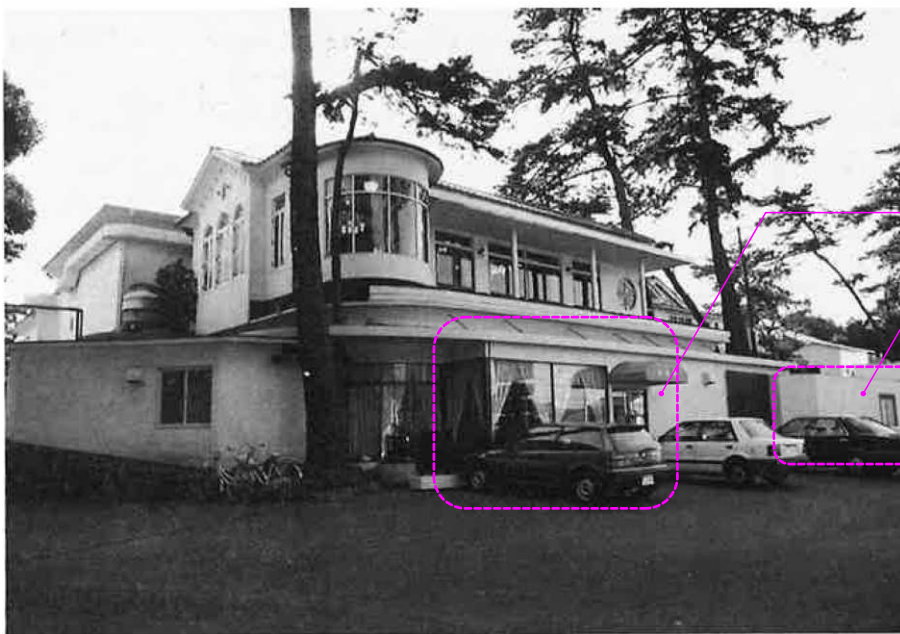
左記のカラー化写真



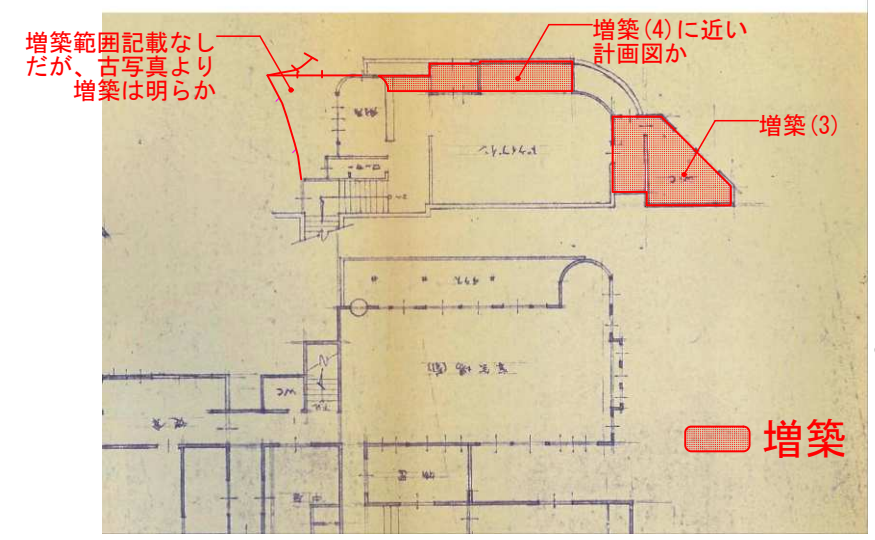
c 古写真(変遷表では「外観写真」と記載)  
撮影年：昭和44(1969)年  
[大磯町立郷土資料館提供資料]



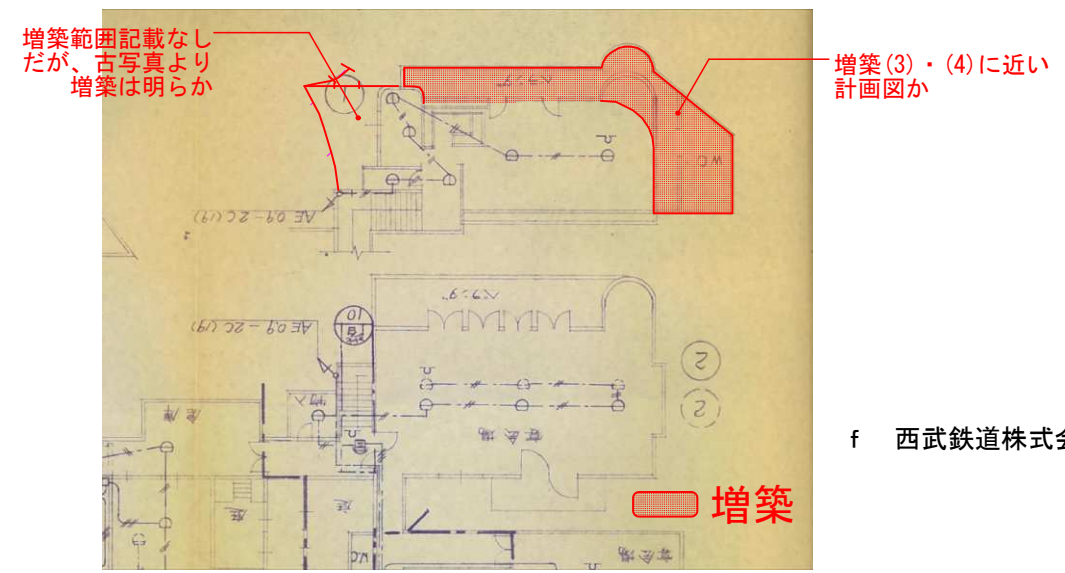
d 古写真(変遷表では「外観写真」と記載)  
撮影年：昭和46(1971)年  
[神奈川県公文書館デジタルアーカイブ  
『滄浪閣ドライブイン』掲載写真]



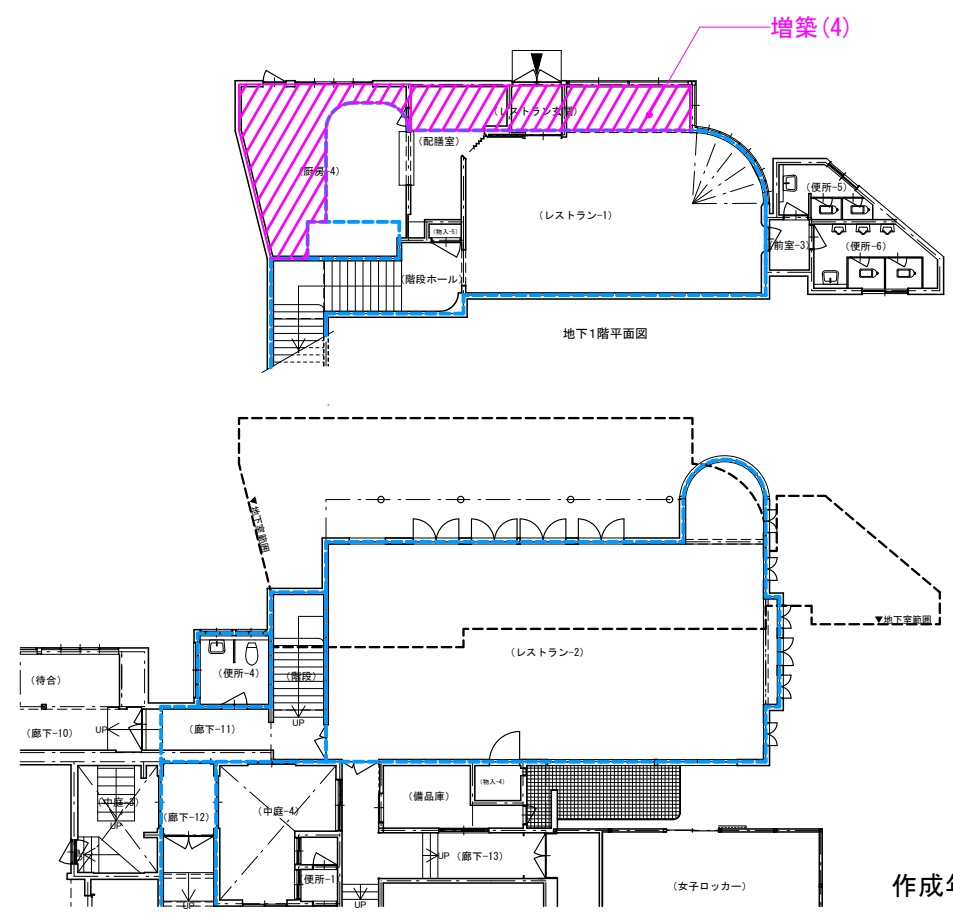
g 古写真(変遷表では「外観写真」と記載)  
撮影年：昭和63(1988)  
[「大磯のすまい」P.168 1段目]



e 西武鉄道株式会社「防火対象物使用開始届出書  
大広間改装による変更」  
(変遷図では「図2」と記載)  
作図年：昭和52(1977)年8月  
[国土交通省所蔵図面を加工]



f 西武鉄道株式会社「消防用設備着工届出書 設備図」  
(変遷図では「図3」と記載)  
作図年：昭和59(1984)年  
[国土交通省所蔵図面を加工]



h 現況図 (---: 創建時の間取り)  
作成年：令和3年5月 [株式会社建文 作成]